

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 凌雲会	代表者	稲次 正敬	法人・事業所の特徴	住み慣れた地域・自宅での暮らしが維持できるよう、「通い」利用を中心に、利用者・家族の様態に応じ「訪問」「宿泊」を組み合わせ24時間・365日固定された時間にこだわらず、一人ひとりの生活に合わせ臨機応変に対応し、その人らしい生活、暮らし方が継続できるよう、一日の決められた日程等を設けることなく、家事活動を中心に利用者の持っている意欲、力を引き出し生きがいの持てる暮らしを目指しています。私たちは、可能な限り在宅で暮らすこと、最期までその人らしい人生を送っていただけるよう、その人の思いと願いを大切にしたい支援・サービスを提供しています。
事業所名	小規模多機能ホーム 親の家	管理者	福富 郁代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	2人	2人	人	人	4人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・職員の情報共有不足な所があるためミーティングなどを通じ情報の共有に努めていきます。	月1回のミーティング以外にも、毎日送迎後にミーティングを行い重要な事は申し込みノートに記入するようにする。		引き続き毎日送迎後にミーティングを行い情報の共有に努めていきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	・外出できる機会を持てるように外出行事、外に行きたいと希望のある時等の外出を行います。	毎日の買い物以外にも季節に応じて、外に出かけたりしています。	・施設の周りを散歩するだけの簡単な外出もしたらいいかも。 ・行事等たくさんしている。	イベントの外出行事以外にもスタッフが忙しい時は希望に応じて外出を行っていききたい。
C. 事業所と地域のかかわり	・家族様や地域の方が気軽に来て頂ける環境を作っていきます。 ・ご家族に参加頂ける行事を行います。	外出行事の時は家族様にも参加を呼びかけ、月1回の認知症カフェにも案内を出しています。	・看板等がないので地域の人には何の建物か分からないと思う。	・ご家族に参加頂ける行事を行っていきます。 ・地域の方も気軽に来て頂ける環境を作っていきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・時々地域の行事にお誘いいただき参加している。今後も継続して交流を図っていきます	子ども神輿も休憩場所としてスペースを提供し、また地域のイベント（餅つき等）にも参加し交流を図っています。		・地域の行事にお誘いいただき参加している。今後も認知症カフェなどを通して地域行事の情報を得て参加していきます。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議の議事録などを家族様にも配布し現在事業所が行っている事を周知します。	家族様全員に運営推進会議の案内を入れ、参加されなかった家族様には議事録や資料を配布して活動状況をお伝えしています。		引き続き運営推進会議の議事録や資料などを配布し事業所が行っている事を周知します。
F. 事業所の防災・災害対策	・消防署の指導を頂きながら、継続的に訓練し備えて行きます	消防士立ち会いで訓練をしたり、災害対策に炊き出しや、仮設トイレの設置等を訓練しています。		引き続き年2回の防災訓練以外にも炊き出し訓練等定期的に実施していきます。

